



編集・発行

2006 年 12 月号 №378

カトリック幟町教会（宣教企画部 広報係）

〒730-0016

広島市中区幟町 4 番 42 号

TEL (082)221-0621

FAX (082)221-8486

<http://www.nobori-cho-catholic.com>

主任司祭 澤野耕司神父

助任司祭 木村博明神父

パンガンスベルゲ神父

金炫勇(キム・ヒョンヨン)神父

シスター 小野島照子

私が夢見るクリスマス 金炫勇 神父

クリスマスはキリスト教の大切なお祝いですが、今では世界の子供たちに人気のある行事になり、季語としても定着しています。復活日は初代教会の時から守られていましたが、クリスマスが祝われる様になったのは、4 世紀頃からとされています。初代教会の人達は復活された主イエスと共に生きる喜びがあり、主イエスの誕生日を正確に知って、祝う必要性を感じなかったのだと思います。100 年程前までは日本でも子供の誕生日を祝う習慣がなく、社会的地位の高い家庭の男の子だけの行事だったようです。日本のどこの家庭でも子供の誕生日を盛大に祝うようになったのは 50 年程前からで、戸籍制度や男女平等の意識が確立され、経済的余裕ができたこととも関係があります。

現在は豊かになり過ぎて、サンタさんがプレゼントを選ぶのにも悩むようです。どんどん便利で面白くて新しい物がはんらんし、子供が家庭でお手伝いをするともなくなり、余程のことがないと喜んだり、感謝することさえありません。以前、ある日曜学校の

クリスマスで

プレゼントをもらった子供が「何だこんな物か」と、投げ捨てて帰ったのを見て心が痛みました。主イエスは「受けるより与える方が幸いです」と教えています。

私たちの周りには私たちの分かち合いを必要としている人々が多いのです。世界の貧しい国々では物質的に困っているが、先進国と自慢している国々では、生きる力を失っている人が多いそうです。主イエスはその物質的にも、精神的にも貧しいわれわれの救いのために来ました。また、わたしたちが互いに助け合いながら生きることを教えてくれるために世の中にお生まれになったのです。

もし、私が他人より体力的な力があるなら、それは、周りの人を助けるために神からもらったものです。もし、私が他人より経済的に豊かであれば、それは、周りの人を助けるために神からもらったものです。もし、私が他人より頭が優れていれば、それは、周りの人をよく理解し、助けるために神からもらったものです。それに気づくのが本来のクリスマスではないでしょうか。これは、僕が夢見るクリスマスです。



クリスマス・新年のミサ

12 月 24 日	主日のミサ 8:00 9:30 14:30
	クリスマスミサ 18:00 20:00
12 月 25 日	クリスマス夜半ミサ 0:00
	クリスマス日中のミサ 10:00
12 月 31 日	聖体礼拝・聖体降福式 23:00
1 月 1 日	平和祈願ミサ 0:00
	平和祈願司教ミサ 10:00

「9条ピース・フェスタ in ヒロシマ」レポート

N. O

日本国憲法公布から60年を迎えた11月3日、全国各地で憲法関連のイベントが行われ、広島では約7000人が集まりました。

イベントでは、コンサート、パフォーマンス、講演、イラク報告、平和アピール宣言などが行われ、翻訳家の池田香代子氏は講演で、学力に格差をつけることでパワーエリートを生み、彼らの財力で国を支えていこうとする動きを、所得税の話を用いて分かりやすく説明され、教育基本法改正が更なる格差を生み、固定化する怖さを訴えられました。また、9条の会呼びかけ人で作家の小田実氏は、改憲論者が現憲法を「現実にはそぐわない」と主張しているが、資源がなく、食料自給率の低い日本は戦争できないという現実を見ようとしない改正論者こそ「現実にはそぐわない」。憲法の理想を求めていくことが「現実的」であり、だからこそ「憲法9条、今こそ句」だと述べられました。

「ただ平和がいい、9条を守ろうというのだけではいけない。もっとリアリズムに徹しなけ

ればならない」。小田氏の言葉を重く受け止めました。・・・国会から核保有論が聞えてくるようになった。日本が核を持てば、アジア・中東も持つようになる。核を持てば、維持費がかかる。借金だらけのこの国のどこにそんなお金があるのか。社会保障費が削られるのか、新たな税金が増えるのか。そもそも核を持てば、国際社会から経済制裁される。輸入に頼るこの国は成り立たなくなり、わたしたちは生きられない。・・・リアリズムに徹すれば、核も軍備も国益にはならないことがよく分かります。

神が忌み嫌う抑圧と搾取につながるこれらの動きの中で、「わたしのはらわたよ、はらわたよ。わたしはもだえる。心臓の壁よ、わたしの心臓は呻く。わたしは黙していられない」(エレミヤ4・19)という神の声が聞えてきませんか？

4時間半という長丁場ではありましたが、参加してよかったと素直に思いました。

《日曜学校活動予定》

今年も残すところ12月だけです。12月といえば、子供たちが心待ちにしているクリスマスですね。今年も楽しいクリスマスになるように祈りましょう。

10月28・29日に侍者合宿を行いました。この度の侍者合宿は、クリスマスミサの練習も兼ねていました。

1日目は、祭具の名称や祭服の色のこと。それから、ろうソクを持った入退堂の方法を勉強しました。

2日目は、次の日のミサで予行演習を行いました。

当日、クリスマスミサは初めての子供もいますが、練習を思い出して上手に出来るように祈ってます。

これからの予定

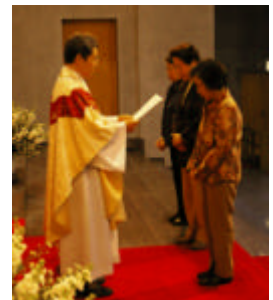
12/17 クリスマス会(聖劇もあります)・終業式

1/14 始業式・各クラス授業

聖体奉仕者に27人が任命されました

新任》 7名

再任》 20名



先月5日の夕暮れどき、俳句同好会『対岸俳句会』のメンバー50人が聖堂見学に来られました。その時皆さんが詠まれた俳句の一部をご紹介します。

祈る手の細き秋思のマリア像
十字架の影くつきりと秋夕日
開かれしままの聖書や百合香る
秋暮れてステンドグラスの色深む
種黒く秋のひまはり大聖堂

16人が洗礼

王たるキリストの祝日の11月26日、澤野神父様の勉強会で学んだ方々等を、私たちの共同体の新たな家族としてお迎えしました。

その中から、2人の方に感想を伺いました。



時雨るるやいつも忘れぬ顔ひとつ

小さきテレジア M.O

(西部地区)

ただ今受洗と初聖体を授かりました。私は現在62歳です。昨年秋から澤野神父の下でカトリックの勉強を続けてきました。そんな中で「偉大な宗教というものはものを一元的に見る」という言葉に出会いました。これまでの人生の中で人間であることの悲しみは存分に味わいました。自分と他のものという二次元的な考え方に執着している自分にはっと気づかされました。

聖堂に「小さきテレジア」という澤野神父の声が響きました。溢れ出る涙を抑えることができませんでした。あなたでも私でもなく、ただ小さき者として生きていきとうございます。

聖堂の扉を押し、外に出ると一人の婦人に声をかけられました。「みことばの分かち合いは何処でありますか」と。婦人は最近チュニジアを旅され、アウグスチヌスを巡って来られたそうでした。アウグスチヌスの「告白」を読むことが初聖体の贈り物でした。

洗礼式を終えて

カリスト R.T

(牛田地区)

私は、洗礼を授かり教会の一員として受け入れていただきました。

洗礼式は、想像以上に荘厳なもので、初めて聖体拝領を経験し、改めてキリストの教えに従って歩むことを実感しました。

これまで信者ではありませんでしたが、私にとって幟町教会は身近な存在であり、子供のころは、その鐘の音を生活の一部として感じ育ちましたので、馴染み深いこの教会の一員として受け入れていただきましたことを、うれしく思います。

最後になりましたが、主イエス・キリストに属する者として復活できたことを神様に、カトリック入門講座や洗礼式でお世話になりました澤野神父様をはじめとする幟町教会の神父の皆様、代父になっていただいた方、そして初めて教会に行った日から今日までいろいろなことを教えてくださり、支えていただきました多くの信者の皆様にお礼を申し上げます。



シリーズ・コラムの

原稿を募集しています

テーマは「平和」!!

テーマを決めて、皆様の率直な意見を交換するシリーズ・コラムの欄を設けています。ただいまのテーマは「平和」。平和の使徒として、私たちの素直な思いをお寄せください。

原稿は400字以内で、連絡等を行う場合もありますので、応募は実名でお願いします。(ただし、掲載にあたっては、イニシャル・ペンネームも可能ですので、ご希望の方はそのことを記載してください。) 提出は、受付まで。

仕える人になりなさい

マリア会 S.Y

以前、私達夫婦で読んだ『マルコ福音書』に、私があなたを選んだのは罪人だからである。と言う箇所と、私が仕えた様にあなたも仕える人になりなさいと伝う箇所は、妙に私の心から離れません。

教会の中を、近所を、社会を見廻して見ます時、黙々とこの点を実行していらっしゃる人を沢山見つける事が出来ます。仕える姿は、本当に感動を覚え、平和の輪を広げる力を持っていると信じます。

私も70才を過ぎた今、罪人である自覚と仕える人になりたいと云う思いを忘れない様にしたいと思います。私の心掛けている小さな例ですが

ミサの前に信者がにぎやかに挨拶し、言葉を交わしている時、誰一人声をかけてくれなかったら、私はゾーっとする程の孤独を感じます。外国の人、一人ぼっちの人、初めての人に声をかける様、心がけています。

大好きな草取りと、花を植えることで小数の人でも喜んでくださるのは、本当に嬉しい事です。施設管理部の皆様のお蔭で花を植える場所があちこちに増えました。

一緒に話をしませんか。可憐な花も心も平和への一役を担ってくれる事でしょう

運営委員会からのお知らせ

- 維持費納入アンケートの結果、現状維持決定。アンケートで振込み希望された方には振込みで応じる。
- 聖堂正面化粧ブロック塀積替え工事を行う予定
- 聖堂床清掃
金曜日：10：00 のミサ後
土曜日：11：00～12：00
日曜日：9：30 ミサ後
- 1月7日(日) 9：30 ミサ後、幟町教会信徒新年会を会費制(1000円)で行う
- 1月26日(金) 文化財防火デーによる防火訓練を11：00から行う
- 2月の餅つきは社会部(気づく会)ができなくなったため日曜学校が引き継ぐ。

